

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回登米市商工振興審議会
開 催 日 時	令和2年12月24日(木) 午後2時30分 開会 午後4時10分 閉会
開 催 場 所	登米市役所中田庁舎 101会議室(1階)
議 長 ( 委 員 長 ) の 氏 名	登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部泰彦
出席者(委員)の氏名	登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部泰彦 登米ブロック商工会女性部連絡協議会 会長 只野好子 登米ブロック商工会青年部連絡協議会 会長 桑原裕也 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 猪股育夫 登米市産業振興会 会長 山田正 迫公共職業安定所 所長 管家孝弘 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 地方振興部長 白鳥成英 以上7名出席
欠席者(委員)の氏名	なし
事務局職員職氏名	登米市産業経済部 部長 阿部孝弘 登米市産業経済部 次長 遠藤亨 登米市産業経済部 地域ビジネス支援課長 櫻節郎 登米市まちづくり推進部 観光シティプロモーション課 千葉昌彦 登米市産業経済部 地域ビジネス支援課 地域ビジネス支援係長 田村洋二郎 主査 金澤健治 企業振興係長 伊藤達也 登米市まちづくり推進部 観光シティプロモーション課 観光シティプロモーション係長 千葉道宏 以上8名出席
議 題	審議 (1) 登米市商工観光振興計画(見直し案)について (2) 登米市中小企業振興条例(案)について

<p>会 議 結 果</p>	<p>会長の選任 事務局案のとおり「登米地域商工会連絡協議会 会長 阿部泰彦」氏が互選により決定</p> <p>会長職務代理者の指定 阿部会長からの指定により「一般社団法人 登米市観光物産協会 会長 猪股育夫」氏に決定</p> <p>諮問書の提出 市長から阿部会長に対し、別添「諮問書」を提出</p> <p>審議 (1) 登米市商工観光振興計画（見直し案）について …次ページ以降の意見を踏まえ、掲載内容を再度検討していくこととした。 (2) 登米市中小企業振興条例（案）について 意見なし</p>
<p>会 議 経 過</p>	<p>別添のとおり</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>資料1 登米市商工観光振興計画の見直しの概要 資料2 登米市商工観光振興計画（中間見直し版） 資料3 （仮称）登米市中小企業振興条例の制定について 資料4 登米市中小企業振興条例（案） 別紙 登米市商工振興審議会の皆様へお願い</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
	<p><b>7. 審議</b></p> <p><b>(1) 登米市商工観光振興計画（見直し案）について</b> 別添資料1及び2に基づき事務局から説明後、各委員から以下のとおり意見がありました。</p> <p>委員 10ページの表に、みやぎの明治村との比較に松島海岸と仙台城跡があるが、その地域を目指しているのか。</p> <p>事務局 主な観光地と登米市との違いを分かりやすく表現するため記載している。</p> <p>委員 11ページの表のように、栗原市や大崎市、気仙沼市など近隣の比較も10ページの表に加えた方がより分かりやすい。 全体的な表についてだが、直近の統計数値の年度が平成28年度だったり令和元年度だったりと統一されていない。調査統計の年次等のズレがあったりすると思うが、その意図はあるのか。</p> <p>事務局 今回計画見直しに当たり、計画を策定した際の基準年度を掲載するとともに、直近の実績を載せることで令和7年度に向けた進捗状況を把握することを基本にしているが、調査統計によっては数年前の年度が直近となっている統計もあるので統計上の直近年度を掲載している。</p> <p>委員 既存企業の育成について、もう一度説明してほしい。</p> <p>事務局 〈25ページから26ページの基本方針1を再度説明〉</p> <p>委員 中小企業単位で誘致企業に対し県外にアピールしていくということか。市内の大企業に中小企業者の従業員を派遣するなど、市内事業者同士で連携し助け合えるような仕組みづくりを取るべきではないか。 人材バンクとして、Uターン希望者に対し、市内事業者がどのような技術者を求めているのか確認できる仕組みづくりを取るべきではないか。</p> <p>会長 企業誘致も大切だが、既存事業者との連携も取ってほしい。</p> <p>事務局 そういったことから、今回の見直しにあたり18ページ記載のとおり「オール登米」と記載している。同業種はもちろん、農商工連携を登米市内で行っていくことが「オール登米」である。農業や商業、工業、福祉の市内企業を集めたビジネスマッチングを行っているので今後も継続していきたい。また、近隣の大企業に対し市内事業者を活用していただくため市職員による営業活動をこれまでも行ってきたが、今後も継続していきたい。</p> <p>委員 地元企業を活用する考えが市にはないように感じる。そのような考えを是非持ってほしい。</p>

事務局	求人や求職バンクを市で設置するとなると、ハローワークで取得しているような資格を市職員も持つ必要が出てくる。
委員	あくまで企業と企業がマッチングし、人材派遣のように仕事同士で結びつくことが重要である。
事務局	コロナ禍により、その需要は高まっていると感じる。
委員	大企業が市内事業者を活用する意識づくりが重要なので、そのことを計画へ記載してほしい。
委員	市内の有効求人倍率が低くなっている。市外に勤めている方も多くいるので、市内で雇用の場があれば就業したい方はまだまだいる。企業間の人材派遣については、国の3次補正予算で「在籍型出向」という形で、送り出す企業と受け入れる企業双方に助成される制度があることから、人材の流動化を図ることが期待できる。市内事業者も活用していただければと思う。計画にある企業誘致と既存企業への支援が上手くバランスが取れれば、活性化につながる。
会長職務代理者	<p>様々な計画を作っても「予算がない」と言われ、実行まで結びつかなかったのがこれまでの実績である。</p> <p>32ページに「社会科教科書掲載」があるが、どの出版社か。</p>
事務局	東京書籍である。市内小学校はもちろんこの教科書を利用するが、全国の小学校がどのくらい東京書籍を利用しているのかは把握していない。教科書を見て登米市に来たいと思い、親と観光に来てほしい。教科書は来年4月から利用され、おかえりモネは来春から放送開始になるので、相乗効果を狙っていきたい。
会長職務代理者	38ページに「イベントの開催とフードツーリズムの推進」がある。新型コロナウイルス感染症が終息後には、どんどん開催してほしい。
事務局	食べ物を目的に観光する方も多くいる。おかえりモネで市内郷土料理を食べていただく場面が出てくることも想定される。そのことを踏まえフードツーリズムを推進したいので記載した。
会長職務代理者	39ページに記載のある「おかえりモネ」がコロナ禍で落ち込んだ「おかえりマネー」につながるよう取り組んでほしい。
事務局	これまでのデータでは、朝ドラが放送されるとご当地の観光客が3割増えている。登米市で3割増えると100万人が増えることになる。しっかり観光につながるよう市でも取り組んでいきたい。その取り組み例として39ページに写真掲載しているが、おかえりモネのロゴマークを活用した商品開発を、事業者と連携し取り組んでいきたい。

委員	<p>おかえりモネのチャンスを生かしていきたい。商工会青年部では「あまちゃん」に関わった方を来月呼び、研修を行う。若者はSNSに影響されやすいので、SNSの発信も交流人口を増やす要因になる。</p>
委員	<p>市で助成金支援をし、おかえりモネのロケ地巡りやリンゴ狩り、ウインナー作りなど体験ツアーを試験的に行ってはどうか。コロナ禍なので、情報発信により力を入れてほしい。</p>
会長	<p>観光客はどこで「はっと」や「仙台牛」等を食べることができるか分からない。 商工会も青年部や女性部の会員数が激減している。商工会の体制も一本化していきたい。</p>
委員	<p>商工会の県本部から「登米みなみ商工会でも、女性部おもてなし事業」をやらないかと提案を受けている。登米中央商工会やみやぎ北上商工会では事業を立ち上げている。</p>
委員	<p>旅行のエージェントに助成金を渡し、観光プランを提案していただくのも手法の一つだと思う。</p> <p><b>(2) 登米市中小企業振興条例(案)について等</b> 別添資料3及び4に基づき事務局から説明。 委員からは意見がありませんでした。 また、別紙「登米市商工振興審議会の皆様へお願い」を活用し、意見・要望がある場合、令和3年1月7日(木)までに提出いただきたいことを説明。</p>